

令和6年度第2回 通常総会議事内容

奈良県国民健康保険団体連合会

1. 開催日時

令和7年2月27日（木）午前10時30分～午前11時30分

2. 開催場所

奈良県市町村会館 8階大研修室

3. 総会の議事経過及びその結果

(1) 代理出席及び書面出席を含め、会員41名が出席しており、定足数を満たしており、本総会が成立していることが報告された。

(2) 松井理事長から挨拶があった。

○ 本日は、総会開催をさせていただきましたところ、各委員におかれましては、公務大変お忙しい中、ご出席をいただきましたこと、厚く御礼を申し上げます。また、令和6年度税制改正の対応として12月に開催させていただいた書面の総会においても、大変お忙しい中、皆様にご協力をいただきましたこと、改めて御礼を申し上げたいと思う。

○ さて、団塊の世代が全て後期高齢者となる一方で、少子高齢化による人口構造の変化の影響等により、市町村国保の被保険者数の減少など、我が国の社会保障制度やその根幹を成す国民健康保険事業を取り巻く環境はますます厳しさを増している。そのような中、奈良県においては、県内保険料水準の統一化が今年度の実現されたが、引き続き収納率の向上や医療費の適正化に向けた取組の強化が求められているところである。

○ 本会としても、市町村支援として、収納対策、医療費適正化など、事務の共同化の推進に積極的に取り組んでまいりたい、そのように考えている。また、令和7年度には、介護保険審査支払等システム更改など、基幹システムのクラウド移行に向けて適切な対応を行うこと、さらに、医療DXの推進に関する取組として、予防接種業務のデジタル化等についても積極的に進めてまいりたい。

○ 連合会の業務は、国の政策、様々な制度改正等について迅速・的確な

対応が求められているが、保険者の共同体としての使命達成のため、さらに県・市町村と連携をして事業の拡大・強化を行い、より一層信頼される国保連合会を目指してまいりたいので、会員の皆様の一層のご支援とご協力のほど、よろしくお願いを申し上げたいと思う。

- 結びとして、本日の総会におきましては、役員を選任のほか、今年度の補正予算並びに令和7年度の事業計画・予算についてご審議をいただくこととなっている。最後までのご審議、そしてご協議のほどよろしくお願いを申し上げます。

(3) 司会者から慣例により、事務局から推薦する方法により議長を選出することを提案し、同意を得て事務局案のとおり松井理事長が議長に選任された。

(4) 議案及びその審議状況は次のとおりであった。

① 議案

<報告事項>

- ・ 報第 13 号 奈良県国民健康保険団体連合会副理事長の選任について
- ・ 報第 14 号 奈良県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計経理規則の一部改正について
- ・ 報第 15 号 奈良県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計経理規則の一部改正について
- ・ 報第 16 号 奈良県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払規則の一部改正について
- ・ 報第 17 号 奈良県国民健康保険団体連合会介護保険給付系保険者事務共同処理業務規則の一部改正について
- ・ 報第 18 号 奈良県国民健康保険団体連合会就業規則の一部改正について
- ・ 報第 19 号 奈良県国民健康保険団体連合会嘱託職員等に関する取扱規程の一部改正について

<議決事項>

- ・ 議案第 21 号 令和6年度奈良県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計歳入歳出補正予算について

- ・ 議案第 22 号 令和 6 年度奈良県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計歳入歳出補正予算について
- ・ 議案第 23 号 令和 6 年度奈良県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計歳入歳出補正予算について
- ・ 議案第 24 号 令和 6 年度奈良県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等特別会計歳入歳出補正予算について
- ・ 議案第 25 号 令和 7 年度奈良県国民健康保険団体連合会事業計画について
- ・ 議案第 26 号 令和 7 年度奈良県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出予算について
- ・ 議案第 27 号 令和 7 年度奈良県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計歳入歳出予算について
- ・ 議案第 28 号 令和 7 年度奈良県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計歳入歳出予算について
- ・ 議案第 29 号 令和 7 年度奈良県国民健康保険団体連合会特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計歳入歳出予算について
- ・ 議案第 30 号 令和 7 年度奈良県国民健康保険団体連合会第三者行為損害賠償求償事務共同処理事業特別会計歳入歳出予算について
- ・ 議案第 31 号 令和 7 年度奈良県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計歳入歳出予算について
- ・ 議案第 32 号 令和 7 年度奈良県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等特別会計歳入歳出予算について
- ・ 議案第 33 号 令和 7 年度奈良県国民健康保険団体連合会役職員退職手当特別会計歳入歳出予算について
- ・ 議案第 34 号 奈良県国民健康保険団体連合会役員を選任について

② 審議状況

報第 13 号について小垣事務局長から報告があり、松井理事長（桜井市）より阿古副理事長に向け「これまでの豊富な経験と知識を持ち寄り、国保連合会の更なる発展に大いに貢献していただけることを期待している。」旨の発言があった。

その後特に質疑は無かった。

報第 14 号から報第 19 号について藤田事務局次長から説明があり、その後、特に質疑は無かった。

議案第 21 号から議案第 24 号について領内課長補佐から説明があり、特に質疑なく原案通り可決された。

議案第 25 号について小垣事務局長から、議案第 26 号から議案第 33 号について藤田事務局次長から説明があった。

松井理事長（桜井市）から「議案第 25 号の説明における令和 7 年度の事業計画での国保総合システムに係る支払基金との共同開発経費について、現在、今後必要となる経費が明らかになっていないため、全国の国保連合会が懸念しているところである。これについて、保険者の負担増とならないよう、適切に国庫補助をお願いしたいということ、来年度の政府予算要望活動において、国保連合会の理事長として私から強く国のほうへ要望していきたい。」旨の発言があった。

その後、特に質疑なく原案通り可決された。

議案第 34 号について小垣事務局長から説明があり、特に質疑なく原案通り可決された。

(5) 議案審議の後、次の事項について報告があった。

- ・ 今後の国保運営について

(説明者：奈良県 森川(東)局長 (副理事長))

4. 出席会員の氏名

(1) 会員

別紙のとおり

(2) 理事

松井 正剛	(理事長)
阿古 和彦	(副理事長)
森川 裕一	(副理事長)
森川 東	(副理事長)
山村 吉由	(常務理事)
舟木 豊	(常務理事)
野村 栄作	(理事)
西本 安博	(理事)
芝田 秀数	(理事)
森川 喜之	(理事)
小山手 修造	(理事)
南 正文	(理事)
山室 潔	(理事)
霜田 吉見	(理事)

(3) 監事

金剛 一智	(監事)
-------	------

5. 議長の氏名

松井 正剛	(理事長)
-------	-------

6. 議事録の作成にかかる職務を行った者の氏名

小垣 小百合	(奈良県国民健康保険団体連合会事務局長)
--------	----------------------

(別紙)

保険者名	職名	氏名	保険者名	職名	氏名
奈良市	書面出席		高取町	住民課長補佐	辰巳 寛史
大和高田市	保健医療課長	岡崎 剛史	明日香村	村長	森川 裕一
大和郡山市	書面出席		上牧町	住民生活部長	山下 純司
天理市	保険医療課長	中根 由香	王寺町	国保年金係長	中尾 和美
橿原市	保険年金課長補佐	植田 地咲	広陵町	町長	山村 吉由
桜井市	市長	松井 正剛	河合町	町長	森川 喜之
五條市	保険年金課長	池嶋 達	吉野町	町民税務課長	玉村 陽子
御所市	保険課長	木村 佳	大淀町	住民福祉部次長	松川 直由
生駒市	書面出席		下市町	町長	仲嶋 久雄
香芝市	国保医療課長	吉田 清孝	黒滝村	書面出席	
葛城市	市長	阿古 和彦	天川村	副村長	森田 治秀
宇陀市	市長	金剛 一智	野迫川村	副村長	中迫 喜昭
山添村	村長	野村 栄作	十津川村	村長	小山手 修造
平群町	健康保険課長	東川 美和	下北山村	村長	南 正文
三郷町	保険課長	高塚 知己	上北山村	村長	山室 潔
斑鳩町	国保医療課長	猪川 恭弘	川上村	村長	泉谷 隆生
安堵町	町長	西本 安博	東吉野村	税務保険課長	谷口 規世
川西町	住民保険課長	石田 知孝	歯科医師国保	理事長	霜田 吉見
三宅町	保険医療課長	長谷川 淳	医師国保	事務局長	平田 和枝
田原本町	保険医療課長	濱川 奨	奈良県	医療・介護保険局長	森川 東
曾爾村	村長	芝田 秀数			
御杖村	住民生活課長	仲子 雄史			

(敬称略)

この議事録が正確であることを証するため、署名捺印する。

議 長

以上